新たな製品開発を
国立健康・栄養研究所が応援します！

連携事例の紹介と設備・データの活用編

研究概要

健康と栄養に関する研究を通じて、国民の健康と福祉の向上に貢献することを目的に、食生活と栄養、食品、身体活動・運動に関する次の業務を実施

- 国民の健康の保持及び増進に関する調査及び研究
- 国民の栄養その他国民の食生活の調査及び研究
- 食品についての栄養生理学上の試験
- 健康増進法に基づく業務
  - ☑国民健康・栄養調査の集計
  - ☑特別用途食品の許可、承認に必要な試験及び収去された食品の試験

特　長

健康・栄養・運動の研究をあわせ持つ唯一の国立研究開発法人

・健康栄養分野における論文・学会発表で国内トップクラスの実績
平成29年度実績
→ 原著論文：**75報**
→ 学会発表：**216回**（国際学会 14回、国内学会 202回）

信頼できる豊富なデータ

・一般の方から専門家まで 幅広く活用できる健康食品やその成分の安全性・有効性情報を継続的に収集・蓄積
・国民健康・栄養調査によって全国から得られたデータ等の分析による科学的根拠の充実（「食事摂取基準」の策定などに活用）

専門知識を有する研究者

・５つの研究部をはじめ、国際栄養情報センターを有し、専門ごとに多彩な研究者が在籍

企業のみなさまへ

国立健康・栄養研究所は、大阪・北大阪健康医療都市（健都）へ移転を進めています。
大阪への移転を契機に、地域の産業振興に積極的に貢献していくとともに、民間企業との連携した研究開発に、さらに取り組んでいきます。

研究所との共同研究等にご興味・ご関心を
持っていただけましたら、**下記までお問い合わせください。**

お問い合わせ先

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
国立健康・栄養研究所
sangakurenkei@nibiohn.go.jp
国立健康・栄養研究所　検索
URL:http://www.nibiohn.go.jp/eiken/

概念図　大阪府では国立健康・栄養研究所の大阪・北大阪健康医療都市（健都）への移転の実現に取り組んでいます。

国立健康・栄養研究所と民間企業等との連携促進に努めるとともに、
健康産業の創出に向け、研究所と協働して取り組みます。

大阪府
大阪府商工労働部成長産業振興室　ライフサイエンス産業課
〒560-0082豊中市新千里東町1-4-2 千里ライフサイエンスセンタービル20階
TEL.06-6115-8100

2019年2月発行

共同・受託研究等 ― 民間企業との連携（一例）―

これまでも多くの民間企業と連携し、共同・受託研究や研究指導などを行ってきました。
今後とも一層、企業の製品開発などに、研究所の研究成果や特性を活かせるよう取り組んでいきます。

健康機器関連企業

研究用高精度活動量計を**オムロンヘルスケア株式会社**と共同で開発

研究所が持つエネルギー代謝測定などのノウハウを活用し、独自に開発したアルゴリズムを搭載

オフィス関連企業

健康経営に資する健康オフィスの概念や製品を**株式会社イトーキ**と共同で開発

効果的な介入環境の設定、アウトカムの正確な評価、職域などの実社会における実施可能な研究デザインの提案

ソフトウエア関連企業

健康増進を目的としたビデオゲーム『Wii Fit』シリーズの開発のために**任天堂株式会社**と共同研究を実施

ゲーム実施によるエネルギー消費量の表示機能の組み込みにあたって、身体活動時のエネルギー消費量の測定に関する研究成果を活用

食品関連企業

特定保健用食品（トクホ）を医療の現場で活用することを目的としたパンフレット（フルメディトクホ）を**株式会社フクアイ**と共同で作製

国立の研究所として民間企業と連携し、特定保健用食品について情報発信し、同制度の普及と健全な市場としての成長をサポート

設備やデータの活用 ― 研究者が指導・助言 ―

民間企業が利用できる設備（有償）や、健康食品の安全性・有効性に関するデータベースを保有しています。こうした設備等の利活用にあたって、研究所と連携することで、研究者からの指導・助言を受けることができます。

ヒューマンカロリメーター

室内で生活する対象者の呼気によって生じるガス濃度の変化を経時的に測定することにより、運動時、食後、睡眠時などを含む長時間のエネルギー代謝を非常に正確に測定できます。

これにより、一定の実験条件のもとで、エネルギー消費量を規定する要因を明らかにすることが可能となります。

研究利用領域

- ☑ 運動生理学
- ☑ 栄養学
- ☑ 健康科学
- ☑ 医学・薬学

- 研究所が国内で初めて設置
- 熟練した研究者が、効果的な研究計画をアドバイス
- 受託研究・貸出しを実施
- H28 年度実績：大学との共同研究 2 件

健康食品のデータベース

食品や食品成分に関する公正で科学的根拠に基づく安全性・有効性情報を継続的に収集・蓄積し、ホームページで提供しています。

特定保健用食品に関する科学的な情報提供サイトとしても構築しています。

- 10 年以上継続してデータベースを運用
- 公的機関による高い信頼性（国内唯一）
- 16,000 件 / 日以上のアクセス件数！

産学官連携ポリシー

科学技術基本計画を踏まえ、本研究所の保有する人材・情報・技術等を活かして、大学及び民間企業等との間で研究所研究員の派遣や受入れの積極的な実施、国内外の産業界を含む健康・栄養・食品関係の機関との共同研究の拡充、人材の養成と資質の向上、研究設備の共同利用や外部利用の推進を図る。

これらの取組を通じて我が国における健康栄養の研究の拠点として更なる発展を図る。

（中長期計画より）

理事長からのメッセージ ►►►

国立健康・栄養研究所は、健康の維持・増進につながる栄養と身体運動の研究を推進していく中で、健康機器関連企業やソフトウェア関連企業など、これまでも数多くの企業と連携して参りました。

今後、国立健康・栄養研究所の健都移転を契機に企業のみなさまと共同した取り組みをさらに強化していきたいと思いますので、気軽にご相談ください。

国立研究開発法人　医薬基盤・健康・栄養研究所
理事長　米田　悦啓